

リフレクションクラック抑止材

リフレクション
クラック抑止材
として長期の
実績をもつ!!

ジョイントフープ®

●自着タック付 ●防水層施工用

アスファルトコンクリートのオーバーレイ施工において、下層版の目地、亀裂欠損部より表層アスファルトコンクリートの真上にクラックを生じること(Re-reflection crack)があります。

ジョイントフープはリフレクションクラックの発生を抑止し、かつ、クラックの発生時にもジョイントフープが透水を防ぐ事で路盤の軟弱化を防止します。

特長

リサイクル可能

基材がガラス繊維であるため、舗装打ち替え作業時の切削により破砕されリサイクルが可能です。

優れた耐久性

夏冬を通じて柔軟性をもち、弾力性、引張り強度に富みます。

作業性良好

下地との馴染みが良いため貼り付け後すぐにもオーバーレイできます。

強靱なクッション性能

上下舗装の中間にあって強靱なクッション層を構成します。



▲クラック上へのジョイントフープN-200(S)貼付状況

品 種

- ジョイントフープは耐蝕性と抗張力に富み、かつ引張強度の大きいゴム化アスファルトをガラス繊維の両面に塗布して厚さ約1.6mmのシート状にした製品であり、表層アスコンの耐用年数を増加させるために使用されます。
- ジョイントフープには片面を粘着剤加工して剥離紙で保護したタック付き製品『N-200』と、両面を砂面加工した流し貼り用の『N-200(S)』があります。

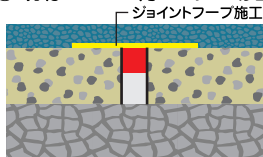
品名	仕様
ジョイントフープ N-200	片面粘着品 (自着工法用)
ジョイントフープ N-200(S)	両面砂付き品 (流し貼り工法用)

用 途

- コンクリート版上にオーバーレイする場合。
- アスファルトコンクリート上にオーバーレイする場合。
- アスファルトコンクリート舗装クラックから透水による基盤の軟弱化防止。
- 橋面のジョイント部を補強して舗装する場合。
- 高速道路のジョイント部を補強し、且つ水密性を保って舗装する場合。
- 支持力の異なる路盤上に舗装する場合。
- 振動、沈下の恐れがあり、また絶えず動くジョイント部や建築物などのフレキシブルな防水層を必要とする場合。

施工方法

① 既存シール材がある場合



目地材を取り除いてポンドシール注入。

② 亀裂部分がある場合



亀裂部はV型にはつり取ってポンドシール注入。

③ コンクリートが欠落している場合



凹部は充填してレベリング層を作る。

④ 目地部が大きく欠落している場合



目地部分が大きく欠損している場合はV型にはつり取ってポンドシールを注入充填する。
注入前の接着面にプライマー-TWを塗布すれば密着性良好です。

☆接着剤にはプライマー-TW又はゴム乳剤を使用して下さい。
☆目地材は当社のポンドシールを使用して下さい。

◇ アスファルト舗装上にオーバーレイする場合

- ① アスファルト舗装面の線状クラック、亀甲状クラックは埃、ゴミを除去して良く清掃した後に、目地材を溶解させたものをスキージでしたり、全面的に層状に塗布します。
- ② クラックの状況により、1m幅または適当な幅に切断してアスファルト舗装面に接着剤で全面接着します。
〔N-200(S)の場合には、溶解した貼り付け用アスファルトコンパウンドを用いて流し貼りして接着させます。〕
- ③ ジョイントフープ接着後、既存舗装面にタックコート塗布してアスファルト混合物をオーバーレイ施工します。

施工上・保管上の注意

荷 姿

品 名	幅 (cm)	厚み (mm)	長さ (m)	重量 (kg/巻)
ジョイントフープ N-200	33	1.6	15	9
	50			13
	100			27
ジョイントフープ N-200 (S)	33	1.6	15	10
	50			14
	100			28

